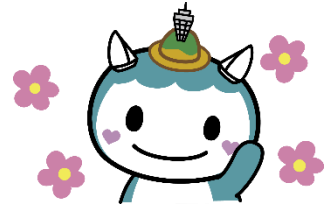




学校だより



校長 北野 博三

今年度も最後の学校だよりとなりました。これまで、様々な場面で学校と協力しながら子どもたちへのご支援を頂いたこと、感謝申し上げます。今後も、学校と保護者の皆様が手を取り合い、子どもたちにとって良い環境を整えていけるよう、よろしく願いいたします。

4月に同じクラスで出会い、仲良くなった友達や先生とお別れし、また新たな出会いを迎える季節となりました。子どもたちにとっては、この経験もまた一つの財産となります。学校では、家庭だけではできない様々な経験（良いこともそうでないことも）を積み重ね、それらを乗り越えていく事で、これからの長い人生を歩んでいく糧となるようにしています。4月の新たな出会いに期待をもって臨めるよう、今年度のまとめとしたいと思います。子どもたちの成長を、学校とともに支え、見守り、応援して下さるようお願いいたします。

3月の主な行事予定

- 2日(月) 給食費引き落とし日(1月分)
- 4日(水) 委員会活動(最終) お別れ式練習
- 5日(木) お別れ集会
- 6日(金) 6年生小中交流会
- 10日(火) おはなし会(2年生)
- 11日(水) おはなし会(5年生) お別れ式練習
- 12日(木) おはなし会(1・4年生・むつあい学級)
- 17日(火) 給食終了
- 18日(水) お別れ式
- 19日(木) 卒業式(1～5年生は登校しません)
午前中は学校敷地内では遊べません
- 25日(水) 修了式・離退任式
- 31日(火) 給食費引き落とし日(2・3月分)

【4月の主な行事予定】

- 4月6日(月) 始業式・着任式・入学式
 - 7日(火) (必要に応じて) 離退任式
 - 9日(木) 給食開始
 - 14日(火) 1年生・むつあい学級懇談会
 - 20日(月) 1年生給食開始
 - 21日(火)・24日(金) 2～6年授業参観・懇談会
- 学級担任の出張をさけた日程にするため2日間を候補日としています。詳しくは4月にお知らせします

学校評価の結果について

例年3・5年生とその保護者の方にご協力いただいている学校評価の結果を裏面に(概要版)として掲載しています。学校HPにも結果の詳細などを3月末まで掲載しますので、そちらもご覧ください。

六会アシスト(児童支援担当より)

今年度も残りわずかとなりました。子どもたちは学習面だけでなく、友だちとの関わりや集団生活の中でも大きく成長しました。日々の積み重ねが、確かな力になっているのを感じました。児童支援では、子どもたちが「困った」を言える環境づくりに取り組んできました。ご家庭と連携しながら支えてこられたことに感謝いたします。

ぜひ、ご家庭でもお子さんの一年間の頑張りを振り返り、温かい言葉をかけていただければと思います。新年度も、安心して学校生活を送れるよう支援してまいります。

保護者の皆様、一年間ありがとうございました。

ドラムセットの寄贈について

本校の卒業生である、元プリンセスプリンセスの富田京子さんが2月10日(火)に来校し、3年生以上の子どもたちにお話しと演奏をしてくださいました。事前にドラムセットを寄贈していただき、実際に子どもたちが触れることができるようになりました。大切に使用させていただきます。



2025年度 学校評価 考察 (概要版)

	考 察
学校が楽しい	児童・保護者の多くは、楽しく元気に学校に通っていると感じている。「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答している児童・保護者も存在している。知的好奇心を刺激できるような授業づくりなど、学習面等の対応を続けていくことが必要。
あいさつ	児童や保護者の多くはあいさつができていていると感じているが、教職員の捉えとはズレがある。目を見てあいさつするなど教職員が率先してお手本を見せていきたい。
いじめ防止	児童の大多数は、「いじめをしてはいけない」ということが理解できている。学校生活で、多様性を尊重したり、相手の気持ちを考えたり、言葉や行動に移せるように指導していきたい。いじめ防止には保護者の理解と協力が不可欠であり、いじめ防止について継続して発信していくことが大切である。
生活	児童のほとんどは、友達と仲良く学校生活を送れており、きまりを守り、係などについてもしっかりと取り組んでいると考えている。教職員間で児童について日頃から様子を良く把握し、情報交換を行うことや、保護者と連携していく事なども継続していきたい。
学習	多くの児童が、苦手な勉強に努力していると答えている。一方で意見を言ったり、質問をしたりしていると答えた児童は、低い結果となった。自分の発言に自信がない児童が一定数見られる。安心して自分の考えを発信できる環境を目指していきたい。
安全	災害時に、家族みんながどのように行動したらよいかわかっているかという質問においては、「わかっている」との回答が低い数値だった。「災害時の対応」について、各家庭で話し合う機会が増えるよう促していきたい。
情報公開	学校からの配付物には高い関心をもって見ている。学校の教育に向かう姿勢について高い評価を頂いた。学校の教育目標や方針について保護者に伝えることは重要である。今後も学校教育目標や各学年や学級の経営方針について丁寧に伝えていきたい。
校内体制	<p>基礎基本の定着をはかる授業、個に応じた指導を心がけており、そのことが児童・保護者の学校への信頼感・満足感につながっていると考えられる。児童が安心して質問したり発言したりできる学習環境を整えていく事が課題である。</p> <p>児童指導や安全に関する指導についても、良好な結果が見られ児童や保護者からも高評価を得ることにつながっていると考えられる。今後も、安心・安全を確保する学校づくりに努めていきたい。</p> <p>課題として、地域人材の活用について課題が見られた。学校運営協議会の協力を得て改善につなげたい。</p>

【全体を通して】

全体を通して、おおむね好評を頂いたと受け止めている。ただ、少数ではあるが学校が楽しいと回答できなかつた児童がいることは重く受け止め、さらなる改善に努めていきたい。学校が楽しいと思えるためには、知的好奇心を刺激する授業、安心できる友達関係の二つが大きなウェイトを占めていると捉えている。まずは授業づくりにおける工夫、そして友達関係などで困った時に安心して相談できる体制の整備が必要である。

地域との連携についても、まだ改善の余地があるという結果が見られた。今年度学校運営協議会が発足したが、実際に目に見える成果をあげたと言える活動は十分行えなかつた。来年度は、さらに活動を本格化させ地域の力を本校の教育活動に取り入れていけるようにしたい。